

# こっこめ通信 10 2001

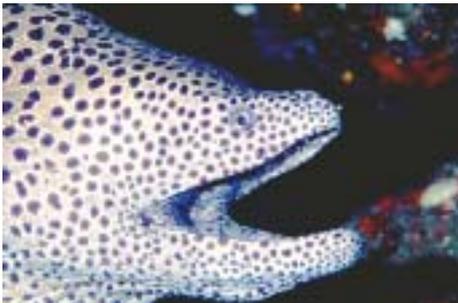
八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「海の中をのぞいてみよう」号

8月の中頃から八丈島に黒潮が接近して、島らしい青いきれいな海が戻ってきたのも束の間、9月中旬にはまた黒潮が離れてしまい、冷たい海になってしまいました。本来、この時期には黒潮に乗ってやってくる南の生きものたちが海の中は大にぎわいのはずだったんですが、今年は少し静かなようです。それでも、海の中には、いろいろな生きものがいて、島を訪れるダイバーを楽しませてくれます。今月はそのダイビングのお話です。

## スクーバダイビングとスキンドайビング

スクーバ (SCUBA) とは、自 (Self) 給気式 (Contained) 水中 (Underwater) 呼吸 (Breathing) 装置 (Apparatus) の頭文字をとったものです。簡単に言うと圧縮空気 (テレビなどで酸素ボンベなどという表現がありますが大きな間違いです) を詰めたタンクを背負って水に入り、水中でも呼吸することができるダイビングです。反対にスキンドайビングは息をこらえて水面下に潜ることです。スクーバダイビングでは水中という未知の世界へいくため、講習を受け認定を受けなければなりません。これは試験ではなく、あくまで講習です。事前に危険を回避するために最低限知っておかなければならないことがたくさんあるのです。



ナズマドの主・ニセゴイシウツボ  
大きなウツボで長さは2m、太さは直径20cm (周囲は60cm) ぐらいあります。決まったところにいることが多く、見られる確率も高いです。

八丈島の代表的魚・トサヤッコ ( )  
オスとメスで全く違う模様をしている魚です。他の地域では住んでいる水深が深いです。八丈島では20m前後で見ることが出来ます。



おちょぼ口のナメモンガラ ( )  
このナメモンガラは他の地域ではあまり見られない不思議な魚です。オスとメスではヒレの色が違うのですぐに見分けがつけます。島では「トミ」と呼ばれます。

## 講習で何をやるの？

講習内容は認定を受ける指導団体によって違いがあります。講習を受けるにはまず泳げなければなりません、そして健康であることです。講習では学科で知識を覚え、プールや海などで実技講習をします。講習だからと言ってあまり難しく考える必要はありません。やってはいけないこと、やらなければいけないこと、緊急の回避などを教えてもらいます。もちろん水中での呼吸の練習や足ヒレ (フィン) を使って泳ぐ練習、圧力を平衡に保つ耳抜きの方法なども教えてもらいます。講習が終われば世界中の海でスクーバダイビングを楽しむことができます。また、さらにダイビングの技術を向上させるために上級者向けの講習を受けることもできます。



認定カード (Cカード)

# 八丈島の海

八丈島の海の状態は黒潮によって大きく変わります。(右図) 黒潮の流路によって良くもなり、悪くもなってしまうのです。また、黒潮に乗ってやってくる生きものも多く、夏から秋にかけては熱帯性の生きものが多くなるのが特徴です。

海の中の地形も変わっています。八丈島自体火山でできた島なので水中でも溶岩が流れた痕が見られます。橋が水中に沈んだのようなアーチと呼ばれるものや、トンネルなどもたくさんあります。これらの地形は波の浸食で出来たと思われます。島の海岸線は切り立った崖が多く、その先の海の中には必ず大きな岩が転がっています。八丈の海は生きものでも地形でも楽しめる海なんです。



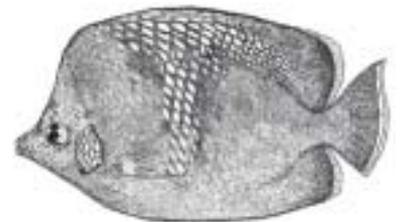
# 八丈島のダイビングスタイル

ダイビングには陸から入るビーチダイビングと、船から入るボートダイビングがあります。八丈島ではビーチダイビングが主流になっていますが、もちろんボートダイビングで島の周りや八丈小島まで行くこともあります。八丈島でビーチダイビングの出来るところは限られています、と言うのも島の周りは切り立った崖や背中にタンクを背負って歩ける場所が少ないためです。現在は、9カ所のビーチダイビングのポイントが使われています。



# 観察できる生きものたち

八丈島の海には、温帯の生きものや熱帯の生きもの、伊豆諸島から小笠原にかけての特別な種など様々な生きものが棲息しています。中でも「ユウゼン」と言うチョウチョウウオの仲間は、世界中で伊豆諸島南部から小笠原でしか見られません。この魚は初夏や秋には繁殖のため群になります。この「ユウゼン」を見に八丈島を訪れるダイバーもいるほどです。また、カンパチやシマアジ、ヒラマサなど見るより食べたい魚もよく見られます。下の図は島で見られる生きものの一部をまとめたものです。しかし、水温によってかなりの違いがあります。



ユウゼン *Chaetodon daedalma*

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚	ツノダシの群		マダラエイなどの大型のエイ		ユウゼンの群		ナメモンガラの産卵		ユウゼンの群			
	レンテンヤッコ		ヘビギンボの仲間の産卵		テンジクダイの仲間の産卵と口内保育		ニタリ(オナガザメ)		イソマグロ		ヒレナガカンパチ・ツムブリの群	
			カツオ		スズメダイやベラの産卵行動							
									南から黒潮に乗ってやってくる生きものたち			
その他	フリソデエビ		アオリイカの産卵		アオリイカの産卵		アオウミガメ・アカウミガメ		フリソデエビ			
			温帯のウミウシ		イルカ				熱帯のウミウシ			
水温	18 ~ 20℃		/		20 ~ 25℃		/		25 ~ 28℃		/ 22 ~ 25℃	

# 八丈島の魚類・後鰓類調査

こうさいるい

後鰓類(こうさいるい)・巻き貝の中で心臓より後ろに鰓があるグループ、ダイバーに人気のウミウシやアメフラシがこの仲間に入ります。

八丈島では500種以上の魚類や250種以上の後鰓類が観察されています。もちろんこれ以上の種類はいると思われています。魚類や後鰓類以外はまだリスト化していないため、種数は把握できていません。今回行った調査は、2人で潜りながら確認していく方法をとったので見落とししているものもかなりいると思われます。もっとがんばれば、もう少し増えたかもしれませんね。

## 潜水データ

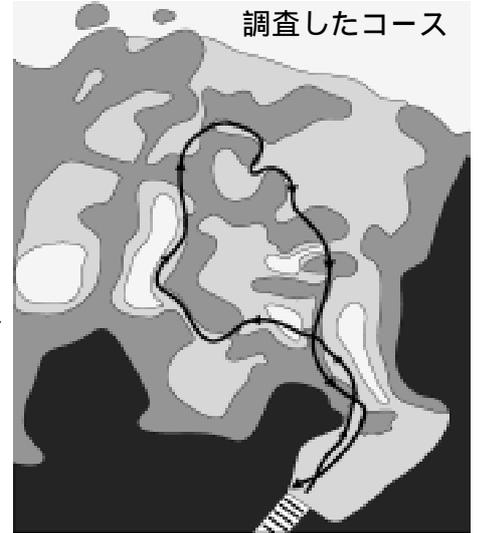
2001年9月15日 調査者; 高須英之、河野厚司  
 気温; 28 天気; 曇り/雨  
 ポイント; 旧八重根港 水温; 24 透明度; 15 m  
 潜水時間; 14:44 ~ 16:02 78分 最大水深; 15.8 m

## 観察できた後鰓類(ウミウシ)

科名	種名	学名	種数
ドーリス科	アンナウミウシ	<i>Chromodoris annae</i>	B
	ゴマフリイロウミウシ	<i>Chromodoris aspersa</i>	A
	コールマンウミウシ	<i>Chromodoris colemani</i>	A
	キイロウミウシ	<i>Glossodoris atromarginata</i>	A
	センテナイロウミウシ	<i>Hypselodoris maculosa</i>	A
イボウミウシ科	クチナシイロウミウシ	<i>Hypselodoris whitei</i>	B
	コイボウミウシ	<i>Phyllidiella pustulosa</i>	C
	タマゴイロイボウミウシ	<i>Fryeria menindie</i>	A
クロシタナシウミウシ	ホンクロシタナシウミウシ	<i>Dendrodoris nigra</i>	B
ミノウミウシ科	ムカデミノウミウシ	<i>Pteraeolidia ianthina</i>	A
	種不明	<i>Phyllodesmium sp.</i>	A

## 種数のアルファベット

- A; 1匹
- B; 2 ~ 10匹
- C; 11匹 ~ 99匹
- D; 100匹以上



## 観察できた魚類

科名	種名	学名	種数	
アカエイ科	ヤッコエイ	<i>Dasyatis kuhlii</i>	A	
ウツボ科	トラウツボ	<i>Muraena pardalis</i>	B	
	コケウツボ	<i>Enchelycore lichenosa</i>	A	
	ワカウツボ	<i>Gymnothorax eurostus</i>	B	
	ウツボ	<i>Gymnothorax kidako</i>	B	
ニシン科	キビナゴ	<i>Spratelloides gracilis</i>	D	
ゴンズイ科	ゴンズイ	<i>Plotosus lineatus</i>	C	
エソ科	アカエソ	<i>Synodus ulae</i>	B	
ダツ科	ダツ科の一種		C	
ヘラヤガラ科	ヘラヤガラ	<i>Aulostomus chinensis</i>	B	
ヤガラ科	アオヤガラ	<i>Fistularia commersonii</i>	B	
フサカサゴ科	ハナミノカサゴ	<i>Pterois volitans</i>	B	
	フサカサゴ科の一種		A	
	イソカサゴ	<i>Scorpaenodes littoralis</i>	B	
カサゴ	カサゴ	<i>Sebastes marmoratus</i>	B	
	アカハタ	<i>Epinephelus fasciatus</i>	B	
キンギョハナダイ	キンギョハナダイ	<i>Pseudanthias squamipinnis</i>	C	
	ヌノサラン	<i>Grammistes sexlineatus</i>	B	
テンジクダイ科	キンセンイシモチ	<i>Apogon properupta</i>	C	
	オオスジイシモチ	<i>Apogon doederleini</i>	C	
アジ科	カンパチ	<i>Seriola dumerili</i>	C	
	クサヤモロ	<i>Decapterus macarellus</i>	B	
フエフキダイ科	ヨコシマクロダイ	<i>Monotaxis grandoculis</i>	A	
ヒメジ科	アカヒメジ	<i>Mulloidichthys vanicolensis</i>	B	
	オジサン	<i>Parupeneus multifasciatus</i>	B	
	オキナヒメジ	<i>Parupeneus spilurus</i>	A	
メジナ科	クロメジナ	<i>Girella melanichthys</i>	B	
カゴカキダイ科	カゴカキダイ	<i>Microcanthus strigatus</i>	A	
チョウチョウウオ科	フエヤッコダイ	<i>Forcipiger flavissimus</i>	B	
	トゲチョウチョウウオ	<i>Chaetodon auriga</i>	A	
	カガミチョウチョウウオ	<i>Chaetodon argentatus</i>	B	
	フライチョウチョウウオ	<i>Chaetodon vagabundus</i>	A	
	チョウチョウウオ	<i>Chaetodon auripes</i>	C	
	ミゾレチョウチョウウオ	<i>Chaetodon kleinii</i>	B	
	ゴマチョウチョウウオ	<i>Chaetodon citrinellus</i>	B	
	シラコダイ	<i>Chaetodon nippon</i>	B	
	キンチャクダイ科	レンテンヤッコ	<i>Centropyge interrupta</i>	C
		クノミ	<i>Amphiprion clarkii</i>	B
キホシスズメダイ		<i>Chromis flavomaculata</i>	C	
シコクスズメダイ		<i>Chromis margaritifer</i>	C	
アマミスズメダイ		<i>Chromis chrysur</i>	B	
シロボシスズメダイ		<i>Chromis albomaculata</i>	B	
タカサゴスズメダイ		<i>Chromis weberi</i>	B	
ミツボシクロスズメダイ		<i>Dascyllus trimaculatus</i>	B	
ハクセスズメダイ		<i>Plectroglyphidodon leucozonu</i>	B	
オヤビッチャ		<i>Abudedefduf vaiensis</i>	C	
ソラスズメダイ		<i>Pomacentrus coelestis</i>	C	
ナガサクスズメダイ		<i>Pomacentrus nagasakiensis</i>	C	
セダカスズメダイ		<i>Stegastes altus</i>	C	

科名	種名	学名	種数
ゴンベ科	ミナミゴンベ	<i>Cirrhitichthys aprinus</i>	B
	タカノハダイ	<i>Goniistius zonatus</i>	B
ペラ科	タカノハダイ	<i>Goniistius zebra</i>	B
	ミギマキ	<i>Goniistius zebra</i>	B
	タキペラ	<i>Bodianus perditio</i>	A
	ブチススキペラ	<i>Anampses caeruleopunctatus</i>	B
	クギペラ	<i>Gomphosus varius</i>	C
	ホンソメワケペラ	<i>Labroides dimidiatus</i>	B
	オハグロペラ	<i>Pteragogus flagellifer</i>	A
	アカササノハペラ	<i>Pseudolabrus eoethinus</i>	B
	カミナリペラ	<i>Stethojulis interrupta terina</i>	
	セジロノドグロペラ	<i>Macropharyngodon negrosensis</i>	A
	ノドグロペラ	<i>Macropharyngodon meleagris</i>	A
	ニシキペラ	<i>Thalassoma cupido</i>	C
	コガシラペラ	<i>Thalassoma amblycephalum</i>	C
	オトメペラ	<i>Thalassoma lunare</i>	B
	ヤマブキペラ	<i>Thalassoma lutescens</i>	C
	コガネキウセン	<i>Halichoeres chrysur</i>	A
	ムナテンペラ	<i>Halichoeres melanochir</i>	B
	ツユペラ	<i>Coris gaimard</i>	A
カンムリペラ	<i>Coris aygula</i>	B	
スジペラ	<i>Coris dorsomacula</i>	B	
シロタスキペラ	<i>Hologymnosus dollatus</i>	B	
イトヒキペラ	<i>Cirrhilabrus temminckii</i>	B	
ブダイ科	ブダイ	<i>Calotomus japonicus</i>	C
ヘビギンボ科	ブチニセヘビギンボ		B
イソギンボ科	カモハラギンボ	<i>Meiacanthus kamoharai</i>	B
	テンクロスジギンボ	<i>Plagiotremus tapeinosoma</i>	A
ネズボ科	ミナミコブヌメリ	<i>Diplogrammus goramensis</i>	A
ハゼ科	ベンケイハゼ	<i>Priolepis cincta</i>	B
	イチモンジハゼ	<i>Trimma grammistes</i>	B
	クツワハゼ	<i>Istigobius campbelli</i>	A
	ホシカザリハゼ	<i>Istigobius decoratus</i>	B
	ツノダシ科	ツノダシ	<i>Zanclus cornutus</i>
	ニザダイ	<i>Prionurus scalprum</i>	C
	テングハギ	<i>Naso unicornis</i>	B
	ミヤコテングハギ	<i>Naso lituratus</i>	A
	シマハギ	<i>Acanthurus triostegus</i>	A
サバ科	ナガニザ	<i>Acanthurus nigrofuscus</i>	B
	スマ	<i>Euthynnus affinis</i>	A
カワハギ科	クロモンガラ	<i>Melichthys vidua</i>	B
	ツマジロモンガラ	<i>Sufflamen chrysopterus</i>	B
	ウミスズメ	<i>Lactoria diaphana</i>	B
	シマウミスズメ	<i>Lactoria fornasini</i>	B
	ハコフグ	<i>Ostracion immaculatus</i>	B
ハリセンボン科	ハナキンチャクフグ	<i>Canthigaster coronata</i>	A
	キタマクラ	<i>Canthigaster rivulata</i>	B
	イシガキフグ	<i>Chilomycterus reticulatus</i>	B

# 2001 10

## 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神楽）の潮の満ち引きの時間です。  
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	○ 2	3	4	5	6 ガイドウォーク
	04:10 10:30 16:56 22:48	04:45 10:59 17:16 23:14	05:20 11:28 17:37 23:41	05:55 11:56 17:58	06:31 00:10 18:19 12:23	07:09 00:41 18:40 12:51
7 ガイドウォーク	8 寒露 ガイドウォーク	9	☾ 10	11	12	13 ガイドウォーク
07:51 01:14 19:02 13:19	08:42 01:52 19:24 13:50	09:52 02:40 19:49 14:28	11:52 03:45 20:26 15:49	13:54 05:19 23:01 19:38	14:46 06:58 20:40	01:27 08:13 15:21 21:16
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	15	16	● 17	18	19	20 ガイドウォーク
02:42 09:09 15:52 21:49	03:40 09:55 16:20 22:22	04:30 10:36 16:47 22:56	05:18 11:14 17:12 23:30	06:04 11:49 17:37	06:50 00:05 18:01 12:21	07:35 00:40 18:25 12:53
21 ガイドウォーク 自然を表現・ 道草ハイク	22	23 霜降	☾ 24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「渡り鳥を見よう」
08:23 01:16 18:50 13:24	09:17 01:55 19:14 13:57	10:30 02:40 19:39 14:43	12:17 03:37 20:08 16:29	13:44 05:00 22:45 20:06	14:27 06:40 20:41	01:25 07:54 14:57 21:05
28 ガイドウォーク	29	30	31			
02:33 08:45 15:22 21:29	03:20 09:24 15:45 21:54	03:59 09:59 16:07 22:20	04:36 10:31 16:30 22:47			

### イベントプログラム

#### 植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう。

10 / 14 (13:30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

#### 自然を表現 「道草ハイク」

道草しながら、自然を満喫する。ホテル水路から鴨川を下るコースの予定。

10 / 21 (9:30 ~ 約5時間)

小学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費:500円 定員:20名

#### 八丈学講座 「渡り鳥を見よう」

八丈島をもっとよく知るための講座。今回は「渡り鳥を見よう」です。

10 / 27 (13:30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:15名

### ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち

11:00 ~ 八丈・四季・人・自然

14:00 ~ 八丈・四季・人・自然

15:00 ~ 八丈・四季・人・自然

16:00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2001.10.1 第5号

開館時間 9:00 ~ 16:30 年中無休(無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷 2843

電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

E-mail:hvc@viola.ocn.ne.jp

http://www3.ocn.ne.jp/vc8/